

事業計画書

事業名	ちいさな本の家
場所	沼津市 東原 地内他
実施予定期間	平成 29 年 7 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日
日程	実施項目・作業項目
	<p>家庭文庫「小さな本の家」は、旧イトーヨーカドー子ども図書館から引き継いだ3,000冊の読み物・絵本を楽しんでいただくため、平成28年5月に沼津市東原の住宅地に設立しました。</p> <p>家庭文庫は言わば、こどもの本の小さな私設図書館であり、赤ちゃん連れから大人の方まで、どなたでも利用可能としています。</p> <p>昨年度、まちづくりファンドスタート支援型を活用したイベント等により、「小さな本の家」は、親子のお出かけ場所となり、また高齢者も子どもとの交流を持つことができる、市内外いろいろなお客様同士の異世代交流の場となってきました。</p> <p>今年度についても、お話し会、イベントなど楽しい企画を実施していきます。</p> <p>7月1日(土) 夏休み工作会 エコクラフトの金魚を作ろう 準備 6月24日 会場 ちいさな本の家 対象 小学生以上どなたでも</p> <p>7月15日(土) おはなし会(ブックトーク) 絵本の読みきかせ、わらべうた遊び 準備 7月8日 会場 小さな本の家 対象 どなたでも</p> <p>9月30日(土) 石井桃子生誕110年 子どもと文学 解説付き上映会 講師 石井桃子ドキュメンタリー映画監督 森英男氏 準備 9月23日、9月29日 会場 サンウェル沼津 対象 どなたでも</p> <p>10月21日(土) ママたちの絵本と手芸の会 準備 10月7日、14日 会場 ちいさな本の家 対象 入園前の子の保護者、子どもたちにおはなし会をする人</p> <p>10月か11月(日にち未定) 千本浜 子どもと散歩(仮題) 幼い子の詩集「パタポン」に若山牧水の詩(牧水邸跡) 大岡信「折々のうた」から 月間誌かがくのとも「まつぼっくり」の作者 富士山自然史研究家 菅原久夫氏のレクチャーのもと、 植物と文学ウォッチング 講師 富士山自然史研究家 菅原久夫氏 会場 千本浜 牧水記念館 準備 9月、10月 各土曜日</p>

	<p>2月平日 絵本と手芸の会 対象 おとな 準備、1月各土曜日 講師 未定</p> <p>3月 (日にち未定) 大岡信「折々のうた」について講演会 講師 田中和雄氏(童話屋編集者) 会場 御用邸記念公園 対象 小学生以上</p> <p>そのほか、毎月第3土曜日は おはなし会とちいさな工作や折り紙を開催</p>						
事業効果	<p>子どもも大人も本を通じた地域交流の場を構築して行く 検証方法としては利用者数、貸出数、イベントアンケートを見ていく。</p> <table> <thead> <tr> <th>平成28年度の実績</th> <th>平成29年度の目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数 361人</td> <td>利用者数 400人</td> </tr> <tr> <td>貸出数 523冊</td> <td>貸出数 700冊</td> </tr> </tbody> </table>	平成28年度の実績	平成29年度の目標	利用者数 361人	利用者数 400人	貸出数 523冊	貸出数 700冊
平成28年度の実績	平成29年度の目標						
利用者数 361人	利用者数 400人						
貸出数 523冊	貸出数 700冊						

※評価の視点については、募集の手引きを確認してください。

公益性	<p>読書の豊かさにつながる本の貸出、高齢者と子育て中ママと一緒に物作りをする場の提供。アウトドアにも出て、美しい海岸と植物そして沼津ゆかりの作家を知ってもらいたい。</p>
発展性	<p>東原ニュータウン自治会行事の時や、愛鷹小中学校への「小さな本の家だより」配布で地域の子どもと大人が利用に来てくれる。 市内外から人形劇セットや本、お話組木を借りに図書館職員、子ども会の役員など子どもに関わる人たちが訪問してくれている。 わらべ歌講座も保育所でお話をする人が受講しにきてくれる</p>
地域性	<p>高齢者が手芸の会で、継続を求めてくれたので、居場所として仕掛けていくことで本を通じた居場所作りができる 孫をつれて実家に来た親子、祖父母と孫が行き場所にしてきている。</p>
必要性	<p>地区センター図書室と違い、スタッフのいる図書室として、地域の人と交流しながら、図書の貸出だけでなく、地域の交流場所として活用してもらえる。 地域のイベント、と言う名目だと出かけにくい人にも、図書室ならフラリと寄ってもらいやすい。</p>
先導性	<p>空き家を活用した「子どもの本の図書室」は、地域に読書文化を創るとともに、沼津での文学、読書への働きかけを・・・難しい文学の入口のハードルを下げられると考えている。</p>
継続性	<p>賛助会員を引き続き募り、会費を集める。 文学散歩、手芸と絵本の会を定着させれば参加費収入も毎年見込める。</p>